

FWG・透保水性舗装工法

現場見学会を開催

ミラクルソル協会

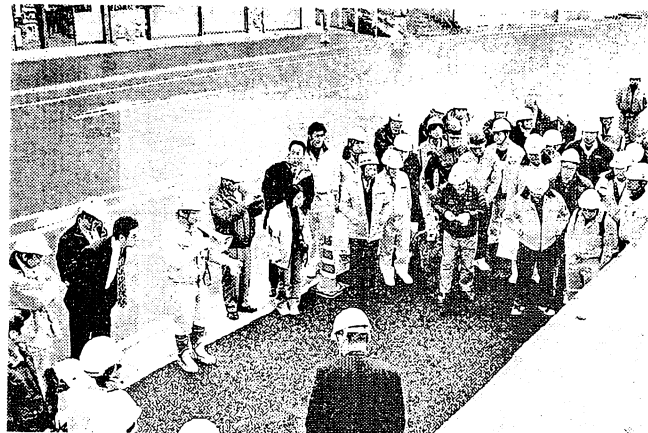
ミラクルソル協会(原裕理事長)は17日、ミラクルソル工法の一つである「FWG・透保水性舗装工法」の現場見学会を開いた。県や市町、建設会社、建設コンサルタント会社から約80人が参加し、玄海町内の施工現場を見学した(写真)。

見学会に先立ち、唐津市北波多の日本建設技術(株)本社でミラクルソル工法の説明会が行われた。原理事長が、ガラス廃材を再利用した新素材・ミラクルソルの特性や効果をはじめ、緑化や水質浄化など用途に応じたさまざまな工法の概要、施工事例を紹介し、「今は環境がクローズアップされている。環境に配慮したミラクルソル工法はこういう時代にこそふさわしい工法」と話した。

今回現場見学会を開いた「FWG・透保水性舗装工法」は、歩道部の路盤材に保水機能を持つミラクルソルを用いたもの。雨水や打水により、路盤に浸透した水分が蒸発する際の気化熱を利用して路面温度の上昇を抑制することができる。

地球温暖化現象やヒートアイランド現象の緩和にも効果が期待されている。

説明会の後、参加者は玄海町内の国道204号道路保全(舗装補修)工事の施



参加者からは、従来工法との保水能力の違いや施工単価などの質問が出ていた。

工現場へ移動。日本建設技術(株)技術研究所の牛原裕司主任が、FWG・透保水性舗装工法が使われている歩道部分の施工状況などを説明した。

現場は、延長30mの歩道を10m間隔に区切り、従来の透水性舗装工法と、ミラクルソル路盤材の厚さが異なる2種類のFWG・透保水性舗装工法で施工。FWG・透保水性舗装工法では、表層に透水性アスファルトを組み合わせ、さらにアスファルトの隙間には2mmアンダーに粉碎したミラクルソルをまいて水で流し込み、間隙を小さくすることで毛管現象を発現させやすくする。牛原主任によると、ミラクルソルは2mmアンダーに粉碎しても保水効果があるという。

佐賀建設新聞

発行所

株式会社 建設新聞社

〒849-0301

小城市牛津町乙柳1145-7

☎ (0952) 66-5750(代)

Fax (0952) 66-5751

購読料 月額5,775円(税込)

※日本専門新聞協会会員

ホームページ

<http://www.kensetsunews.co.jp>

e-mailアドレス

kssaga@lime.ocn.ne.jp

●新聞発行日は●

毎週

火・木・土曜

— 週3回 —

※建設新聞社は建設業を応援します!

「日本には
建設業が必要です」